

# 広報 たかのす

迎春



'98 1/1

# 謹賀新年

たかのす新時代、天と地と・・・



あけましておめでとうございます。

町民の皆様には清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、農作物の成育も順調に推移し、水稲、畑作ともに平年以上の作柄になりましたことを併せてお喜び申し上げます。

また、町民の皆様には町政への温かい励ましやご支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

本年は、町民の皆様はじめ県北地域の方々の長年の夢でありました『あきた北空港』に、いよいよ待望の一番機が飛来いたします。昨年の開港プレイベントを契機に、地域の方々の空港によせる期待も日に日に大きく膨らんできており、産業基盤の骨格となる空港アクセス道路網の整備をはじめ、空港関連施設整備等も大きく伸展するなど、町史に新たなページが加わる年となりました。

また、昨年秋季に工事がスタートしました『ケアタウン事業』をはじめ、在宅ケアを基本に、保健・医療・福祉を通じ、高齢者の多様なニーズに的確に 대응することのできる効率的・総合的サービスの提供を目指し、優しさとうるおいに満ちた福祉社会の形成に向けた取り組みを行なっております。

さらには、二十一世紀に向けた臨空都市にふさわしいまちづくりを推進するため、建設省や秋田県などの専門スタッフをメンバーに『臨空都市』たかのす“まちづくり検討委員会”を設置し、駅前などの開発を含めた、新しい時代の動きに的確に対応した都市計画整備を進めてまいります。

今日の厳しい農業情勢を踏まえつつ、基幹産業である農林業の振興を図るとともに、商工業の振興、下水道整備事業や農業集落排水事業の推進、廃棄物対策など生活環境の整備を促進し、また、心豊かにひらかれた教育の推進と地域文化の育成向上、並びに古代四千年の縄文ロマンを現代に伝える『伊勢堂岱遺跡』をはじめ、先人より受け継いだ文化を大切にしてまいります。

”たかのす新時代“に向かつて、地方自治の主人公である町民の皆様とともに、英知を結集し、地域の特性を最大限に生かした積極的な地域活性化施策の展開を図ってまいります。

年頭にあたり、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成十年 元旦

鷹巣町長 岩川 徹

今年は

# 寅年



今年寅年。虎は干支の3番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ロシアと中国の国境地帯、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは「日本書紀」で、欽明天皇の六年(545年)に、百済で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本に来たのは寛平2年(890年)といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸・大阪などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普

及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知っていることわざも多いので辞書で「虎、寅」を引いてみるとたくさんみつかります。

ところで、今年の年賀切手の意匠の題材は、福島県の郷土玩具「三春張り子の虎」です。これは、郡山市で作られている張り子の玩具です。木彫りの木偶に紙を張って張り子を作ります。三春張り子の虎は「腰高虎」といって、腰を高く上げて威嚇している威勢のいい姿が特徴です。でも、見たところ、とてもかわいい感じの虎です。製作者の一人はこう話しています。

「このデコは江戸時代のもので残っていて、新しいものもその形を踏襲しています。江戸時代には虎を見た人はほとんどいなかったもので、猫がモデルになったのかもしれない」。

いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年虎のように、威勢よく頑張りたいものですね。

## 町営薬師山スキー場

1月25日(日)9時  
開会式

## 第36回町民スキー大会

参加選手の申し込みは1月12日(月)まで

小・中学生 → 各学校まで  
高校生・一般 → 各地区公民館まで

※鷹巣地区の場合は、直接体育館へ申し込みください。

### 《種目》

◎大回転・距離競技とも人数制限はありません

- |         |   |          |
|---------|---|----------|
| 小学校の部   | 大回転(4・5・6年男女) 距離(4年男女1Km、5・6年男子3Km、女子2Km)地区対抗リレー(男子2Km×4人、女子2Km×3人) |          |
| 中学校の部   | 大回転(男・女) 距離(男・女とも3Km)   |          |
| 一般男子の部  | 大回転・距離(青年2Km、成年・壮年1・2部は1Km)   |          |
|         | ※青年 高校生～30歳、成年 31歳～40歳、壮年 1部 41歳～50歳、壮年 2部 51歳以上                    |          |
| 一般女子の部  | 大回転 女子1部(高校生～30歳)、女子2部(31歳以上)                                       |          |
|         | 距離 女子1部(高校生～30歳)、女子2部(31歳以上)とも1Km                                   |          |
| 地区対抗リレー | 小学校男女各1人・一般2人(1Km×4人) ※小学校男女については、リレー選手以外とする                        |          |
| 職場対抗リレー | 男女関係なく1チーム 3人   |          |
| 小学3年以下  | 大回転・距離(男女)全員に参加賞と完走には記録証を交付します                                      | (オープン種目) |
| スノーボード  | 高校生以上(男女)当日受付可能   | (オープン種目) |
| 歩くスキー   | 幼児から高齢者まで1Km程度を自分のペースで完走しましょう(完走者には賞品)(オープン種目)                      |          |
|         | ※申し込みは大会当日とします  |          |
| 遊競技     | みかん拾い   | (オープン種目) |



《表彰》 各種目、小学生は10位、中学生以上は3位まで賞状を、また、個人優勝者にはメダル、リレー優勝チームには優勝カップ(持回り)を授与します。



# 新年号特集



# 今年 は 寅 年



# 年男・年女の皆さんが

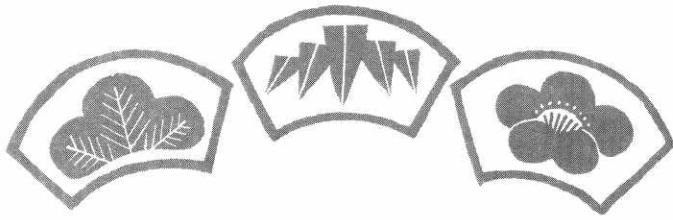
# 新しい年を語る

輝かしい平成十年を迎えました。

今年「寅年」。鷹巣町では、七月にあきた北空港が開港し、現在建設中のケアタウン施設が年内に完成するなど、明るく話題の多い年になりそうです。

そこで、今年の主役である町内の寅年生まれの年男、年女の方々に登場していただき、新しい年への期待や抱負、将来の夢などを綴っていただきました。

大正三年生まれの方から昭和六十一年生まれの小学五年生まで、十三人の方々の声をご紹介します。



高橋 茂明さん  
(新田中)  
大正3年生まれ

## 新しい年に思う

平成十年……「あきた北空港」の完成と共に一番機が飛び立つ。ケアタウンの構想は現実のものとなってその中核が力強く姿を現す。伊勢堂岱遺跡は全ぼうを浮き上がらせて学問的貴重な財産を町にもたらす。

そして二十一世紀には、より充実

した内容を伴って町民を豊かに潤すだろう。その始動する今年、町にとって誠に意義ある年と言わざるをえない。この年に巡り合い、こうした町に生きることの幸せを思い、誇りさえ覚えるのである。特にケアタウンの実現はこの上ない賜物でもある。既に樹立されている福祉教育の体系的実践と相まって「福祉の町」にふさわしい心のこもった展開が期待される。

だが、与えられ、導かれるまま、ただに甘えることでなく、それに応えて進んで学び、さらに良いものを目ざして、共に創り上げる構えが肝要であろう。それはまた自らを高めるゆえんでもある。

わが町のこよなき発展を祈る。





戸嶋 ヤエさん  
(坊沢新屋敷町)  
大正15年生まれ

### あきた北空港の開港に思う

あきた北空港の開港が目前に迫り、地元や町行政の並々ならない誠意と実行に、心から感謝しております。私は、協神で生まれ育ちましたが、子供の頃、センフリを取りに大野岱に行き、広大な原野を何かに利用で

きないものか、などと考えていました。まもなく、そこから旅客機が飛び立つとは、まさに夢のようです。これからは、子供や孫たちが住んでいる東京へ行くことも、また、子供たちが故郷に帰ってくることも自由にできるようなものでしょう。

また、伊勢堂岱遺跡の発掘やケアタウン施設の建設には多くの人が期待を寄せていると思います。

世界一の大太鼓を誇る観光、福祉行政の進展、空港を大いに利用したフライト農業を大事に考える時に来ていると思います。寅年の新年にあたり、鷹巣町のますますの発展と躍進をお祈りいたします。



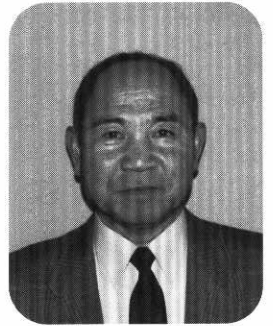
庄司太刀郎さん  
(藤株)  
昭和13年生まれ

### 抱負

日本が高齢社会に突入することは、国民の知るところである。二十年后には、総人口の四分の一が六十五歳以上を占めるといわれ、深刻な時代になることは必須である。その頃の自分を想像すると、何か家族の社会

のお荷物的存在になるような気がして、あまり良い気持ちがない。

しかし、その時代に生きる者として「自分のできる限りのことは自分で意欲的に成し、そこから自分なりの生活を楽しく過ごす道を探る」そんなことを考えると、あまり気にすることはないと思う。問題は、その社会を迎えた時、果たして生き抜くだけの能力と、意欲を持ち備えているかである。そのことが、問われるような気がする。人間、能力だけでは生きていけないと言われている。大切なのは、その人が身につけた意欲だ。そのためにも、来るであろう社会に向け、今から日々の生活を大事にしたいと考えている。



松岡福太郎さん  
(摩当)  
昭和13年生まれ

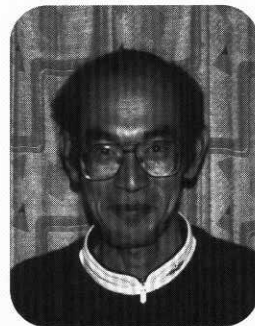
### 有意義な人生を

昨年は、行財政改革をはじめとして、バブル崩壊後の後遺症も大きく、証券会社、金融機関等の破たんが多かった。師走に入り、政府が二兆円の特別減税を発表したが、経済効果はどれほどなものか、疑問が残る年

でもあった。今年寅年。私の五回目の干支である。この年に待望の大館能代空港の開港は、だれが予想したであろう。正夢であると同時に、今後の利活用が課題ではないかとも思っている。

四十数年の勤務生活を終え、特別に抱負等見あたらないが、六十年の人生と職場で歩んできたことを基に、そのときどきに目標を立て、それに向かって進んでいきたい。

世の中は大変裕福な時代ではあるが、それがかならずよい時代とはいえないのではない。時には厳しいことも必要である。これからは、楽しく有意義に過ごしていきたい。



武田 幹夫さん  
(今泉)  
昭和25年生まれ

### 空港の開港に寄せる期待

寅年の自分がちょうど年男に、あきた北空港が開港になるということは何か意義深いものを感じる。空港も完成間近、昨年から試験飛行も始まり、我が家の上空を通り過ぎる飛行機を見ては、これから

の時代は空港なしでは考えられなくなる。だろうなあと感慨無量である。若者が地元で働ける産業の誘致、産物の流通拡大、それによる生産向上など、空港ができることによって可能性は大きい。

鷹巣の観光も違ってくる。行事などは観光客だけのものではなく、地元の人たちが心から、その地域や行事を大切に思い、開催する日程を変えたりせず、その地域のために決められた年間行事なのだといいことを観光客に知ってもらおう。地域の年間行事に合わせた飛来。空港ができれば、そんな事も可能になるだろう。七月開港、私たちはこの時から大いに飛行機を利用したい。



成田美喜子さん  
(東横町)  
昭和25年生まれ

ンが感じられます。私たちの身近で遺跡が発見されたこともあって、昨年の七月に三内丸山遺跡を見学し、観光客の多さに驚くと同時に、設備、保存方法がすばらしいと感心しました。青森に来たついでに竜飛岬まで足を伸ばし、観光を楽しんできました。

伊勢堂岱遺跡発掘以来、新聞報道等で紹介され、鷹巣町で生まれ育った一人として、大変関心を持っておりました。発掘が進むにしたがい、私たちの祖先が遺してくれた縄文時代の生活様式がわかってくるとロマ

### 伊勢堂岱遺跡のロマン



畠山 寿さん  
(黒森)  
昭和37年生まれ

日々を送れる事に感謝しております。さて今、自分が何をすべきかを考えた時、互いに助け合う心を持ち、自分なりに何か一つでも町や地域のためにできる事を目指したいと思えます。

### 大きく飛躍する年に

鷹巣町に生まれて、三十五年が過ぎました。現在地元で働いています。が、能代市や秋田市へ転勤した経験から、鷹巣町が清らかな山河と人情豊かな町であることを感じながら、多くの良き仲間にも恵まれ、充実した

私は農家の長男でもあり、将来の農業情勢は懸念される事もあります。努力と創意工夫で希望の持てる農業経営に取り組みたいと考えています。

また、今年には鷹巣町にとって「あきた北空港」が開港される記念すべき年でもあります。これを契機に、地域全体があらゆる面でフライトの年にふさわしく大きく飛躍することを祈念し、決意を新たに、本年もがんばっていきたいと思います。



小笠原紀子さん  
(綴子大畑)  
昭和37年生まれ

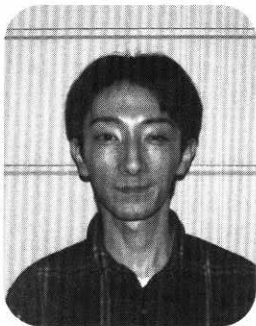
### 臨空都市”たかのす”に期待

県内では、秋田新幹線「こまち」の開業や高速道路で、秋田県と首都圏が直結するなど、交通網の整備が進んできておりますが、県北部にとって、また私たち町民にとってどの程度のメリットがあるのか、考える

と不安でした。

今年の七月、地域住民の大きな夢を乗せた「あきた北空港」がいよいよ開港します。また、これに伴うアクセス道路の整備など、交通網の遅れから一歩脱却することができるように思われます。あきた北空港は運輸が一旦と厳しいものがあるようですが、企業誘致や観光施設の充実など、いろいろな施策や利活用を展開して航空需要を増やし、二十一世紀には全国あるいは世界に運輸されるよう願っています。

また、私たちが安心して生活でき、これからの子供たちにも将来の夢と希望が持てるような「臨空都市”たかのす”」が実現されるよう期待します。



成田 智洋さん  
(宮前町)  
昭和49年生まれ

### あきた北空港への期待

今年は、いよいよあきた北空港の開港です。私は今まで東京や大阪へは、秋田空港や、盛岡からの新幹線を利用していましたが、はつきり言って大変不便でした。今秋田では、あきた北空港はもち

ろん、高速道などの交通網が着々と整備されています。これにより遠方への移動もしやすくなるわけですが、反対に東京などから観光客も簡単に来ることができるようです。十和田湖や白神山地、鷹巣には伊勢堂岱遺跡があります。冬には森吉、阿仁スキー場でのウインタースポーツ。

今後、あきた北空港をどのように利用するか、利用してもらうかが課題となりますが、関東や関西の人達に「秋田へ行こう」と気軽に言ってもらえ、そしてまた行ってみたいと思ってもらえるような、そんな町づくりをめざし、これからの県北の発展に期待したいと思います。



河田 佑 輔 くん  
(鷹巣小五年)

あきた北空港が  
できたなら

あきた北空港が、今年の七月いよいよ開港します。ぼくは、その日が来ることを今からとても楽しみにしています。

近くに空港ができると知ったのは、四年生のころでした。建築現場に見学に行ったとき初めて知りました。そのころはまだ少ししかできていなかったけど、今はもう完成に近づいているそうです。ぼくたちの教室からは、ターミナルビルやかんせいとうがよく見えます。学校の上を飛行機が飛んでいるのを見るとワクワクしてきます。

空港が鷹巣町にできると、日本中からたくさん人がきて、とてもにぎやかになると思います。その中には、外国人も

いるかもしれません。ぼくは、たくさんの人たちと接して、いろいろなことを勉強したいです。そして、ぼくはここ鷹巣町が大好きなので、この町を世界に紹介していきたいと思っています。



富士 明日香 さん  
(竜森小五年)

私の大切な夢

私の夢は病院のかん護婦さんになることです。かん護婦さんの仕事は、病気が治るようになんか注しやをしたり、たくさん病気の人の命をみてあげて、大変な仕事だと思っています。そして、いろいろな人の命をあずかっています。

三年前、私が一度けがをして、病院に入院したことがあります。それで、仕事をしている時も、トランプで遊ん

でくれたり、たん生日の日にケーキを作ってくれました。そこでまた、思い出がふえて、とてもうれしかったです。もし、家の人が病気になるでも、私がそばにいればすぐ治せるからかん護婦さんになりたいです。

でも、どの仕事も大変だということに気づきました。夢に近づくために親切にしたり、ゆびをきった時には、自分で手当てができるようになりたいです。そして、本物のかん護婦さんになってやるぞ。



千葉 剛 くん  
(中央小五年)

遺跡と空港は  
ぼくらの誇り

伊勢堂岱遺跡も空港も中央小の学区内です。四年生の時に「親子レク」で両方を見学しました。ぼくはわくわくし

あきた北空港が  
開港したら

「わーすごい！広いねー」私が初めてあきた北空港を見たのは、子供会のレクリエーションに参加した時のことだ。その頃は、まだ山を大きなシヨベルカーでけずっていた。「ガタガタ、ゴトゴト」と、大きなトラックを女の人が運転しているのを見て、びつくりした。そのほかにも、たくさんの方が仕事をしていた。

それから約一年。親子社会見学に参加し、とても広い空港をながめていた。

私は今までに、一度も飛行機に乗ったことがないし、遠くにも一度くらいしか行ってない。でも、これからはちがう。あきた北空港が開港すれば、東京はもちろん、もっといろいろなところに行けるだろう。東京に行ったら、まずデイズニールランドで遊び、新宿などへ行き、たくさん買い物をしたることができる。

平成十年、あきた北空港が開港したら、日本全国どこへでも行ける。これからは……



戸嶋 悦 子 さん  
(東小五年)

古い遺跡と未来につながる空港がある町になって、とてもうれしいです。今年にはぼくの年、新しい気持ちで何にもチャレンジしてがんばりたいです。



# 行政報告

平成九年十二月定例議会は、十二月八日から十八日までの会期で開かれました。議会初日には提出議案の大綱質疑が行われ、十日、十一日の二日間にわたって一般質問、十二日からは各常任委員会で付託議案等を審議し、十八日に閉会しました。十二月定例議会の行政報告（総務課から農林課まで）は次のとおりです。なお、次号では行政報告の続きと、補正予算の概要についてお知らせします。

## 総務課関係

情報公開条例は、十月一日より施行されました。十一月末まで情報公開についての問い合わせが二件、公開の請求

が一件でありました。

今後は町広報誌によるPR等開かれた行政づくりを進めてまいります。

## 地域政策課関係

あきた北空港の開港とともに、二十一世紀に対応できるまちづくりをめざした「臨空都市」たかのす「まちづくり検討委員会（委員長清水浩志郎秋田大学教授）」を九月二十四日に設置し、これまで二回の委員会を開催しました。この間、現地を視察しながら、町の現状の把握と課題の整理及びまちづくりのコンセプトなどについて話し合われております。今後、事業プログラム、具体化方策についての検討が行われる予定であり、年度末の報告に向けた作業が

進められております。

海外派遣研修事業については、九月二十五日から十月六日までの十二日間にわたり、岩川町長を団長に団員十九名により北欧の先進福祉の研修を実施しました。今後、研修の成果を行政施策に反映し、実効性を高めてまいります。

首都圏在住の同郷者による第十回東京鷹巣会の総会及び懇親会が、十一月二十四日都内のホテルで三百名余りの参加により盛大に開催されました。今年には東京鷹巣会が設立されてから十年目の記念すべ

き年であり、町からは町長、議長をはじめ、各種団体、町民十九名などが参加し、郷土

の話題や、民謡、福引きなどのアトラクションで大いに交流が図られました。

## 空港推進課関係

大館能代空港整備事業については、滑走路、誘導路、エプロン等の工事が完了し、現在フェンス、植栽工事のみとなっております。

また、緩衝緑地帯の工事としては、シンボルゾーン、センターゾーン、ふれあいゾーン、多目的スポーツゾーン等の工事が、急ピッチで進められております。

ターミナルビル建設工事の進捗率は建築関係で七十パーセント、設備関係で五十パーセントとなっており、全体の姿を現す状況まで進められております。

大館能代空港地域活性化懇話会事業の一環として、首都圏旅行代理店による二回目の鷹巣阿仁地区を中心とした観光地現地研修が、十月十四日

から三日間にわたり実施されております。

空港開港への関心を高め、利用促進につなげるため「あきた北空港ブレイベント」を十月十九日に開催しましたところ、好天に恵まれ一万五千人の観衆が訪れて、空港のイメージアップと啓蒙活動としての成果が上げられました。

「あきた北空港（大館能代空港）開港記念イベント実行委員会」を十一月十九日に開催し、イベント実施を来年六月十四日とし、イベント企画プラン等の了解を得ることができました。

運輸省による、あきた北空港及び周辺フライトチェックが十一月五日より実施され、十二月までの約六週間続けられることになっております。

## 住民生活課関係

秋の全国交通安全運動が九月二十一日から三十日まで実施され、二十二日には関係者約五百人が参加してパレードを行い、交通事故撲滅を訴え

るとともに交通安全思想の高揚に努めました。

秋の火災予防運動は、十一月二日から八日まで行われ、町内全域にわたる巡回広報な



どの実施により防火意識の高揚に努めました。

全国地域安全運動が十月十一日から二十日まで実施され、防犯パレードや車両及び自転車のロックパトロールを行いました。

ごみ埋立地に設置している焼却炉のダイオキシン排出実態調査を実施したところ、測定の結果ダイオキシン類濃度二十ナノグラムと報告されました。この数値は、厚生省

### 財産管理課関係

地籍調査事業については、平成八年度調査地区（坊沢の一部、二百七十四ヘクタール、

が示したダイオキシン類発生防止等ガイドラインにおける緊急対策の判断基準八十ナノグラムを下回っておりますが、住民の健康を守るため、燃焼ごみの種類や適正な燃焼管理等に努めてまいります。

今年度の二回目の家庭粗大ごみの自己搬入が、十月二十五日、二十六日に行われ、自己搬入分が二百一十一件、高齢者世帯等の自己搬入困難分の回収は五十九件でした。

### 農林課関係

今年度の稲作の作況指数は、

県全体、県北ともに「一〇一」の「平年並み」となっており、集荷実績は、十一月二十日現在の計画出荷米数量九千八百四十六トンに対し九千四百五十七トンで、集荷率九十六パーセントとなっております。

町営牧場は、十月二十八日に七度目の退牧を無事終えております。

四千百十三筆）の本閲覧が十一月四日で終了し、国への認証事務作業を進めております。

### 福祉保健課関係

平成九年度健康大学は、七座地区を対象に十一月から十二月まで五回開催し、延べ二百三十名が受講しました。また、冬期成人病予防事業、生き生き健康教室は十一月六日に開講し、二月中旬まで五回の日程で開催されます。

ダイヤモンド婚十八組の方々に寿詞を贈呈しました。九月十八日に契約したケアタウン（在宅複合型施設）建設工事は十月八日起工式が挙行され、十一月末現在で十パーセントの進捗状況となっております。

十一月十三日、たかのす福祉館で関係機関、一般町民約四百五十名が参加して、社会福祉大会、老人福祉大会が合同で開催され、社会福祉功勞等の表彰と、金婚百十五組、

福祉医療について、十一月一日から乳幼児の対象年齢が四歳未満まで拡大され、当町においても二百四十四名の新たな対象者に医療券を交付しております。

大畑・葛黒地区の認定農家など五名の組合員による「葛黒生産組合」が事業主体となつて進めていたミニライスターが九月中旬に竣工し、三十三ヘクタールの籾乾燥調整の実績を上げております。

県営ほ場整備事業については、綴子地区の排水路工及び橋梁工、綴子西地区の暗渠排水工、鷹巣・前山地区の整地工、用水路工、排水路工及び道路工が完了しております。

脇神地区農業集落排水事業は、処理場建設工事が六十パーセント、管路敷設工事が八十パーセントの進捗率で、工期内完成を目指しております。八月の豪雨災害については、農地二十六か所、施設八か所が農業災害復旧事業の採択決定を受けました。

林道開設工事、根小屋沢線の進捗状況は、一工区が約六十パーセント、二工区が約八十パーセントで、工期内完成を目指しております。

（次号に続きます）

# 海外視察研修報告

～スウェーデン・デンマークの福祉～

## 「人権が尊重される社会」に感動の日々



▲デンマーク・オザー市でのディサービスのようす

今回で三回目となる北欧福祉先進国スウェーデン、デンマークを視察する「平成九年度鷹巣町海外視察研修事業」が、昨年九月二十五日から十月六日までの十二日間の日程で行われました。

視察研修には岩川徹町長を団長に、町議会議員、一般市民、町職員合わせて十九名が参加しました。参加した皆さんは、それぞれの立場から先進福祉を見聞してきましたので、その研修報告と皆さんの感想を紹介します。

福祉先進国といわれるスウェーデン、デンマークへのこのたびの視察研修では、高齢者や障害者に対して、一人ひとりの尊厳を損なわないよう、思いやりと心こもったケアを行う北欧の福祉の原点に触れ、驚きと感動の毎日でした。

ここに研修の概要を報告します。

スウェーデン

### マルメ市

《市の行政と高齢者福祉政策》

マルメ市は人口二十四万八千人、高齢化率は二十％で、施策を十分に行うために十の地区に分け、各区で高齢者福祉、児童福祉、レクリエーション、文化等を行っていました。

同市には、高齢者特殊住宅としてグループリビング、サービスハウス、ナースングホーム、二十四時間ケアアパートなどがあり、ここには複数部屋などはまったくなく、すべて個室となっていました。各部屋には、入居者にとって思い出深い写真や絵などが壁いっぱい飾られており、使い慣れた家具の中で、毎日安心して生活しているようでした。

デンマーク

### オーフス市

《補助器具リサイクルセンター》

人口二十八万人のオーフス市では、はじめにオーフス市補助器具リサイクルセンターを視察しました。

ここでは、PIAグループという精神障害者が社会復帰するための訓練場所になっており、慢性的障害を持つ人、体が弱っている人々に対して補助器具を貸し出しています。器具は、車イス、ベッド、台所、二十四時間緊急呼び出し装置、歩行器など四千三百種類がそろえられています。

社会的に弱い立場にある人たちが社会サービスを行っているということで、非常にユニークな施設であるという施設長のことばがとても印象に残りました。

《重度痴呆性老人プライエム》

〜カリタス・プライエム〜

ここは痴呆の人にも人間らしい生活を送ってほしいという施設長の考えから、十戸のケア付き住宅がある定員百十名の重度痴呆性老人プライエムとして、市から援助を受け経営されています。施設長の「痴呆性老人に対して最も大切なことは、痴呆は病気であり、私たちが介護しているということ、誠実に温かく体で示すことです。本人の尊厳が保てるように服装や環境を整え、またまだ楽しい人生が残っているということ、をわかってもらうことです」という講義に、参加者全員が非常に強く心を打たれ、考えさせられました。

デンマーク

### オザー市



## 《高齢者福祉政策》

オザー市は、オーフス圏内二十六の自治体の中で五番目の市で、人口は約二万人、うち二千五百人が七十歳以上です。

市では、①高齢者ができるだけ在宅にすることを可能にする。②サービスはできるだけ地域から行われるようにする。という大きな目標を掲げ、市を六つの地区に分けて各地区にローカルセンターを設けています。

高齢者の六分の一は何らかのケア付き住宅に住んでおり、ほかにも自宅に住んでいる六十七歳以上の高齢者の二十五%が在宅ケアを受けています。人口は鷹巣町とほとんど同じですが、医療スタッフの数のあまりの違いに、オザー市の徹底した福祉政策のようすがうかがえました。



▲オザー市・グループホームで、入居者が居間でくつろいでいました

## 《ローカルセンター》

市には六つのローカルセンターがあり、そのうち二つの施設を視察することができました。

市が運営するローカルセンターの業務内容は、①二十四時間ケア付き住宅②ショートステイ③リハビリ部門④訪問看護⑤在宅ケア⑥痴呆性老人部門⑦配食サービス⑧補助器具の支給⑨住宅改造の判定⑩一般的な高齢者同志の交流場所⑪カフェテリアなどさまざまでした。

次に、福祉法人が市と契約して経営しているローカルセンターを視察しました。この施設の特徴は、福祉法人の目的であるキリスト教的奉仕をすることであり、その考えで運営されていることでした。

## 《障害者グループホーム》

このグループホームは、痴呆症や精神障害者が生活する小規模のプラ イームです。建物の構造や規模は他のローカルセンターとは違い、家庭的につくられていました。

各個室のドアには自分の部屋だとわかるように工夫されており、庭は迷うことがないように、必ず戻れるよう設計されていて、いろいろな果樹が植えられ、自由に食べることができ、味覚、視覚などの感覚を刺激するような配慮がされていました。スタッフは、生活環境を整えることにより、入居者が落ち着いた生活



▲オーフス市の補助器具リサイクルセンター車イスなどが数多くそろえられていました

を送れるよう努めていました。職員は全員が二〜三年の痴呆対応の講習を受けており、コミュニケーションのしかた、体や顔を使った表現のしかた、行動心理学等を学んでいました。そのため、迷うことなく余裕をもって入居者に接しているように見ええました。

## 《同行訪問》

今回の視察では、参加者のうち九名が、今までの視察では実現できなかったローカルセンターでの在宅ケアにおける同行訪問をさせていただきました。九名が二つのローカルセンターに分かれ、訪問看護婦やヘルパーとともに約半日間の家庭訪問等を行いました。

一つのローカルセンターでは、職

員百名に対して入居者が四十七名、在宅ケアを受けている人が約二百名おり、スタッフを四つのグループに分けて活動していました。一つのグループには看護婦一名、ヘルパー六名がいて、交代しながら二十四時間体制で在宅及びセンター内の入居者のケアをしていました。またスタッフにはほかに理学療法士、作業療法士、介護福祉士等があり、一人の入居者に対して一人のスタッフが対応するという仕組みになっていました。訪問看護婦やヘルパーは、一日に何人もの家庭を訪問しますが、決して忙しそうではなく落ち着いたようすでケアを行っていました。看護や介護は日本とほぼ同じですが、すべてにおいて心がこもったケアを行っており、高齢者の表情を見ると、とても穏やかに感じられました。ケアに対しては、ヘルパーや看護婦がすべて行うのではなく、相手ができるところは自分でやってもらい、できないところは手伝いながら、残存機能の維持も図っていました。

たくさんケースを見れば見るほど、スウェーデンやデンマークの福祉の状況を知ることができ、特に、一人ひとりの人権を尊重したケアを行っている、北欧の福祉の実践を目の当たりにして、福祉に対する考え方を新たにするとともに、非常に有意義な研修とすることができました。

# 「すべての人を大切に」

## 北欧の福祉の実践に

### 驚きと感動！

参加者の感想を紹介します



▲12月12日、保健センターにおいて報告会が開かれ、町民の皆さん100人余りが熱心に聞き入っていました

#### ■ 大川 仁吉郎さん ■

どの施設も全部個室で、リビングボード、椅子などの備品は自分が家で使ったものを持ち込み、家族の写真は必ず飾り、私たちが普段住んでいる部屋よりも充実しており、歴史的背景を感じました。退屈した時は談話室で過ごしたりと、寝込んでいる人は見当たりませんでした。個人が重んじられることから考えると、個室が適切であると感じました。

#### ■ 金沢 キエ子さん ■

デンマークやスウェーデンのこの視察研修を通して、三十パーセントを超える税金が市民にしっかりと還元され、市民があまり負担を感じていない姿を見ることができました。国家の一番の課題は、誰もが安心して暮らせる、生きがいを持って働ける、いわゆる福祉国家を作ることだと思いました。

#### ■ 川口 由希子さん ■

施設は全室個室で、入居者は今まで自分が使用してきた家具や家族の写真、絵画など愛着を感じていたものを持参でき、入居者に適した環境づくりと細かい配慮がされていました。ケアするにあたっては高齢者を尊敬し、温かい環境のなかでそのニーズを満たしてあげることが大切なのだと、あらためて勉強させられました。

#### ■ 小塚 淳 子さん ■

どんな重度の痴呆性老人にも、社会的尊厳が残っていることを忘れてはならないし、職員が専門知識の教育を受けて個々にかかわっていることは相手を尊重しながらケアをしていけることだと思います。夜間のヘルパー同行では、残存能力を生かしながら必要な介護を受けて自立した生活を送っているデンマークの高齢者の人たちを見ることができました。

#### ■ 小林 晋 子さん ■

一番関心があったのは、痴呆性老人施設、グループホームでした。施設を見学して一貫して言われたことは、受ける側の立場にたつて、常に入居者の状況を把握し、良い環境を作つてあげるといふことで、介護の本質的なものに触れた思いで感動しました。これから自分で何ができるか、何をやるべきか考えて、できることから行動していきたいと思えます。

#### ■ 小林 玲 子さん ■

カリタスプライエム（重度痴呆性老人）の施設長は、お話の中で職員の教育の大切さを強調されておられ、何事も根本は教育が肝要であると痛感し、その実践から人の助けが必要になつても誇りを持って生きられる社会、人間の誇りを大切にする社会こそ品位ある本場に豊かな社会なのだと気づかせていただきました。

#### ■ 佐藤 勝 久さん ■

同じ介護職としての目線から、その地域で暮らす利用者に直接触れ合うことができた同行訪問でした。一対一での同行で、言葉が通じませんでした。介護する側もされる側も笑顔が絶えず、強い信頼関係で結ばれていることを感じることができ、また、個々を尊重し、やさしさと温かさで対応する人たちの人間味あふれる寛大さに強く心を打たれました。

#### ■ 佐藤 勲 重さん ■

北欧の入所施設はすべて個室あるいは夫婦部屋であり、部屋には長年自宅で愛用した家具を持ち込み、家族や配偶者の写真を飾るなどゆつくりとした生活をしていました。今回の視察で個室の良さを見て、町が計画している在宅複合型施設が個室であることが間違いでなかったとあらためて確認できました。

#### ■ 佐藤 真 さん ■

長い年月をかけてつくりあげてきたデンマークに比べ、日本の福祉は三十年ほど遅れているようですが、私たちに目指すべき手本があるので、その差は大きいものだと思います。技術的な面では日本も劣らないと思います。大切なのは心です。一人でも多くの人になぜ鷹巢がデンマーク型の福祉を目指しているかを理解してもらいたいと思えます。



■ 柴田 弘 美さん ■

重度痴呆性老人の生活している部屋は広く、明るく、その中でのおんびりした雰囲気です。暮らしていたのには驚きました。日本の十坪程度の広さで、さすが福祉の国だと感心させられました。どうしたら高齢者がゆとりある生活を送ることができるか、自分たちのできることは何か、今後真剣に考えていかなければならないことを肌で感じました。

■ 城 口 健 治さん ■

スウェーデンではナーシングホーム、サービスセンターを見学しましたが、働く職員の多さに福祉に対する考え方の違いを感じました。デンマークではローカルセンター、プライエム、補助器具センターなどを訪問し、行政の民主的な運営と個人を大事にする福祉を教えられました。両国で学んだことをこれからの活動に生かしてがんばりたいと思います。



▲スウェーデン・マルメ市の議事堂で講義を受ける参加者

■ 高橋 レイさん ■

歴史や文化の違いはあっても、年をとっていくことはみんな同じ。現地でローカルセンターと言われているものは、鷹巣町において小学校区ごとに計画されているサテライト施設と同じようなものでした。今回の北欧研修を、自分の人生観を見直すいい機会とし、少しでも町の福祉に役立ちたいと思います。

■ 武石 龍 一さん ■

制度や施設環境が日本とあまりにも違うことに感嘆の声を上げる日々でした。どのような高齢者でも人間として尊厳が損なわれることなく、個性的な輝きを持って生きられる社会、それがスウェーデンでありデンマークという国でした。真に「豊かな社会」とはこのような国のことを言うのだろうというのが率直な感想です。

■ 疋田 れい子さん ■

政治、教育、医療、環境、リサイクルなどの政策により合理的で文化的な生活を保持し、老後は安らかな安定した生活を営むことができる。そのために生活環境が整えられていることに感心させられました。一人暮らし老人宅にヘルパーの方と同行訪問し、夜間は施設の中での実習を体験し有意義な時間を過ごすことができました。

■ 藤 島 久美子さん ■

オーフス市の補助器具リサイクルセンターでは、「精神障害者に仕事を」ということを目標とした団体に委託されていました。その責任者の話を聞き、デンマークの人々の「社会的に敗北者になりそうな人々が、社会的なサービスを提供するという大きな意義がある」というその決断と勇氣に驚かされました。

■ 藤 島 美香子さん ■

施設では一対一の個別対応がなされ、職員は良き理解者となりケアしている。痴呆性老人の問題行動といわれるものも問題視するのではなく、何がそうさせているのか原因を予測し、状況判断する能力が介護側に問われてくる。そういったプロ意識、責任ある言動が、質の良い介護、看護につながるのではないかと痛感しました。

■ 畠 山 勇 悦さん ■

今回訪問した両国では、人権を重んじる基本的な思想が完璧なまでに浸透し、個々の生活形態が継続される。まさに理想的な福祉が展開されていると感じました。人間としての尊厳を保ち、自立して生きることが追求する。文化や歴史の違いはあっても理想とするところは違はずが、ごく当たり前のことですがあらためて思い知らされた気がします。

■ 三 上 直 美さん ■

今回の研修では、ローカルセンターで在宅ケアの同行訪問をさせてもらうことができました。相手の立場に立ち、できることはいくら遅くとも上手にできなくても自分でやってみよう。その人の残存能力を生かすよう努める。それが結果的に自立を促し、尊厳を保つことにつながる。研修でのこの貴重な体験を今後の保健活動に生かしていきたいと思えます。

このたびの海外視察研修に参加された皆さんは、一人ひとりの人権が尊重されている北欧の福祉の現状を目の当たりにして、大変感動していたようでした。この体験が、これから「福祉のまちづくり」を推進していく上で、大きな力となり生かされていくことでしょう。十二日間にわたる熱心な研修を終えられた皆さん、本当にご苦労さまでした。



## 生涯学習の輪を広げよう

— 公民館まつりで文部大臣表彰を祝う —

第十五回公民館まつりと生涯学習交流会が、十二月七日「これからの生涯学習く人の輪から地域の和へ」をテーマに中央公民館で開催されました。今年の公民館まつりでは、「パネルディスカッションや、「自由に生きる人間づくり」と題したノンフィクション作家前川清治さんの記念講演が行われたほか、子供ふるさと太鼓やマンドリンの演奏、シルバー社交ダンスの披露など多彩な内容となり、十月に中央公民館が受賞した文部大臣表彰を出席した約五百人の皆さんと共に祝いました。

また、このたび記念講演された前川さんから蔵書約二万冊が寄贈され、席上贈呈式が行われました。町では、公民館に書架を配備し「前川文庫」として多くの人に利用していただけるよう計画しています。



## 思いやりの心が車イスに

— 東小で「こころぽかぽか集会」 —

東小学校（夏井嘉信校長）では十二月十六日、「こころぽかぽか集会」が開かれ、アルミ缶回収活動で購入した二台の車イスを町社会福祉協議会に贈りました。同校では、思いやりの心を育てるため、平成六年からこの活動に取り組んでおり、今回で四回目となります。集会では、夏井校長が「アルミ缶の回収やあいさつ、ごみ拾いなど、皆さんができるボランティア活動をこれからもがんばりましょう」と話し、岩川町長は「皆さんから贈られた車イスで、家族の人もとても助かります。これからもがんばって協力してください」とお礼のことばを述べるとともに、感謝状を贈りました。



## 大太鼓の置き物で悪臭を浄化

— 長岐保次さんが県発明展で入選 —

第四十六回県発明展の一般の部で、発明協会県支部長賞に輝いた長岐保次さん（七日市・六十三歳）が、このほど役場を訪れ、入選の報告を行いました。

「玄関先・居間・床の間の浄化剤」と題した長岐さんの作品は、配水管を利用した緩子大太鼓を五十分の一に縮小したミニチュアで、中にナラの木を焼いて作った木炭がはいっており、いやな臭いや湿気などを浄化できるというものです。

長岐さんは、「初めての出品で入選となり、とてもうれしく思っています。今後も浄化剤にこだわった発明品を作っていくたい」と意欲的に話していました。



# 町長日誌

12/1~15

1日(月) 森吉山ダム工事用道路安全祈願祭並びに開通式典に出席。

1日(月) あきた北空港イベント実行委員会に出席、「プレイベントでは1万5千人近い参加者があり、来年7月開港への大きな弾みとなった。今後も大いに盛りあげていきたいと思います」とあいさつ。

2日(火) 全国治水砂防促進大会に出席。終了後に行われた秋田県河川治水協会による建設省や地元国会議員への予算要望に参加。

3日(水) 全国町村長大会に出席。

7日(日) 第15回公民館まつりと生涯学習交流会に出席、講座受講生や関係者など500名余りが出席する中、講師として出席していただいた前川清治さん(ノンフィクション作家:川崎市在住)より、町に二万冊の個人蔵書を寄贈していただいた。

8日(月) 平成9年第7回議会定例会。平成9年度一般会計補正予算案など14議案を上程、大綱質疑に対して答弁をした。

10日(水) 議会一般質問初日。議員四氏による、町行政改革大綱や高齢社会問題、大型店構想や情報公開条例等についてそれぞれ答弁をした。

10日(水) 鷹巣町医療団体との業務協議会に出席。

11日(木) 議会一般質問二日目。議員五氏による、駅前再開発や農業並びに工業振興対策、ダイオキシン等による環境問題対策等についてそれぞれ答弁をした。

11日(木) 鷹巣町森林組合山神祭に出席。

12日(金) JA鷹巣町の配送センター、育苗センター、ライスセンターの竣工式に出席。

14日(日) 小塚君子氏叙勲祝賀会(勲六等瑞宝章)に出席、永年にわたり水位観測業務(小猿部川脇神水位観測所)に携わり、水害予防に重要な役割を果たしてこられた小塚さんの栄誉を祝福した。

# 年始の役場や施設について

今年もよろしくお願ひします。

- 役場 ..... 1月5日(月) から平常どおり
- 湯の岱温泉 ..... 1月2日(金) から平常どおり
- 大太鼓の館 ..... 1月2日(金) から平常どおり
- 鷹巣体育館 ..... }
- 地域福祉センター ... }
- 竜森コミュニティセンター ... }
- ファルコン ..... }
- 子供風土記館 ..... }
- ゴミの搬入 ..... }
- 町立図書館 ..... 1月5日(月) から平常どおり
- ゴミの収集 ..... 1月5日(月) から平常どおり
- 青葉荘 ..... 1月6日(火) から平常どおり

※1月2日(金)午前10:30から大太鼓たたきぞめを行います。

1月4日(土)から平常どおり

## 建設工事の入札参加資格申請書の (中間年)受付について

鷹巣町が発注する建設工事の入札に参加する業者は、町が定める要件を満たしていることが条件となっておりますが、入札参加資格審査を平成9年度に受けておらず中間年(平成10年度)に資格審査を受けたい業者は、次のとおりです。申請書類一式を添え提出願います。なお、平成9年度に入札参加資格を認定された業者は今年度の申請は必要ありません。

■ 資格要件(次の要件を満たしていない場合は申請できません)

- 国または県の建設業許可の取得者であること。
- 経営事項審査の審査を受け
- 経営状況分析終了通知書の写
- 経営事項審査結果通知書の写

鷹巣町が発注する建設工事の入札に参加する業者は、町が定める要件を満たしていることが条件となっておりますが、入札参加資格審査を平成9年度に受けておらず中間年(平成10年度)に資格審査を受けたい業者は、次のとおりです。申請書類一式を添え提出願います。なお、平成9年度に入札参加資格を認定された業者は今年度の申請は必要ありません。

■ 受付期間 平成10年1月5日(月)～2月27日(金)

■ 提出先及びお問い合わせ先 役場財政課契約係

☎ 62-11111  
内線254

鷹巣町が発注する建設工事の入札に参加する業者は、町が定める要件を満たしていることが条件となっておりますが、入札参加資格審査を平成9年度に受けておらず中間年(平成10年度)に資格審査を受けたい業者は、次のとおりです。申請書類一式を添え提出願います。なお、平成9年度に入札参加資格を認定された業者は今年度の申請は必要ありません。

■ 受付する工種

- 一般土木工事
- 建築一式工事
- 吹付工事
- 電気工事
- 給排水暖冷房衛生設備工事
- 鋼構造物工事
- 舗装工事
- 一般塗装工事
- 路面表示工事
- 機械設備設置工事
- 電気通信工事
- 造園工事
- さく井工事
- 水道施設工事

■ 申請書に添付する書類(提出部数は各1通)

- 経営状況分析終了通知書の写
- 経営事項審査結果通知書の写
- 建設業許可証明書又は許書の写
- 工事経歴書(過去二年間)
- 営業所一覧表
- 技術職員名簿
- 技術者免許書の写(各個人毎のコピー)
- 業者カード
- 建設業退職金共済事業加入履行証明書(建設業退職金共済に加入している者)
- 社会保険料納入証明書
- 登記簿謄本の写(法人の場合)
- 町税納税証明書
- 使用印鑑証明書

# クロスワードパズル

あきた北空港

答えは

A  B  C  D  E  F  G  H



## パズルの解き方

縦と横のキーをヒントにクロスワードを解いてください。二重枠になっているA〜F（6文字）を順番に並べるとそれが答えです。

●応募方法 ハガキに答えと住所、氏名、年齢、職業（小中高学生は学校と学年）を書いて 鷹巣町役場 地域政策課広報広聴係（〒018-33 鷹巣町花園 町19-1）まで送ってください。

正解者の中から抽選で十名の方に図書券をプレゼントします。

●締め切り 一月十五日（木）消印有効

1	5	6	7	<input type="text"/>		2	<input type="text"/>	8
1				B		2	D	
5					3			
				3				
6				4			9	
				4				
<input type="text"/>		7	10	<input type="text"/>		8		11
G				A				
	9				12		10	
13		11		14		15		
E								
12	16		13	<input type="text"/>				
				C				
14		17		15				18
								H
		16					17	

## 100のキー

- ① 今年の11月からはじまった空港の○○○○エック（飛行検査）。
- ② 葛黒の「火○○○かまくら」。
- ③ 大きな魚ほど○○○が強い。
- ④ 町の花。
- ⑤ 落ち込むこと。○○○○の色はかくせない。
- ⑥ ミカン科ユズ類の常緑低木でユズより小さく、香りと酸味があり、主に徳島県で栽培されている果物です。
- ⑦ 五目並べにつかうもの。
- ⑧ 一覧のこと。英語では？
- ⑨ 手さげ袋。ハンド○○○。
- ⑩ 地中に打ち込む長い棒のこと。
- ⑪ まんじゅう形で腰高に編んであり、江戸初期、槍持やおずき売・風車売などがかぶった。
- ⑫ ガーデニング。○○いじりのこと。
- ⑬ 立って○○○○もなんだから座ってはなそう。
- ⑭ 生野菜を使った料理。
- ⑮ 蚕のまゆからとった繊維をあわせてまだ練らないまの糸。
- ⑯ 漢字にフリガナがされていること。○○付。
- ⑰ こちらと○○ち。

## タテのキー

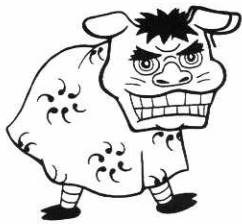
- ① 化学実験器具。ガラスのつくくりのような器。
- ② 斧で燃料にする木をつくること。
- ③ 忙しいの反対。

- ④ 正方形ではない四辺の長さが互いに相等的なのは○○形。
- ⑤ 砂漠でのる生き物。こぶのあるのこいます。
- ⑥ 両方が同じ事をくりかえすばかりでむだなことをすることをいう。
- ⑦ ぶた肉を衣を付けて揚げると○○カツという。
- ⑧ 国語算数○○社会、得意な科目は？
- ⑨ 危険を伴うこと。○○○をおかす。
- ⑩ トカゲ目タテガミトカゲ科の背中にとげ状の突起がたてがみのように生えている1・8メートルの大きな爬虫類。
- ⑪ 包丁などを切れるようにするための道具。
- ⑫ 1000キロバイトは1○○○○。
- ⑬ あきた北空港アクセス道の橋の一つ。○○○○大橋。9月19日に連結されました。
- ⑭ 頭と尾を取って二つに裂いて乾した○○○ニシン。
- ⑮ 療養所のこと。清浄な空気と日光とを利用し慢性疾患を治療する郊外の施設。○○○リウム。
- ⑯ どんなものにも助けを求めること。たたとえばつかうもの。○○をもつかむおもいで……。
- ⑰ つかれて○○い。風邪をひいてもありません。
- ⑱ マイホームのこと。





# クリスマスと お正月



ぶん：マーク・スミス

皆さんお正月はどう過ごしていますか？イギリスではお正月でもパブが開いているので、恋人や友達と夜の12：00まで新年のお祝いに行きます。クリスマスの場合は家族と祝います。

日本と違いますね！

イングの中に流れて温かくなります。おいしいですよ。生まれてから祖父の役割でしたが、不幸にも今年亡くなりました。それで、私は家族の一番年上ですが、日本にすんでいるので、今年は弟がすることでしょう。ご飯の後、普通は男性が皿を洗って（いつもです）、テレビでエリザベス女王の演説を見ます。紅白歌合戦のように毎年入ります。

7年前に妹と家をきれいに飾った時彼女にたくさん冗談を言い、笑わせすぎました。そのとき妹はおめでただったので、もしずっと笑ったら、子供が早く生まれてあったかな？実際2日後、めいがうまれました。

皆さん、新年あけましておめでとう  
"Happy new year everyone"

Smiffy

## イギリスのクリスマス

イギリスにいたときは、二週間前から、妹と家をきれいに飾り、25日の朝においとめいがクリスマスプレゼントをあけて喜ぶのを見てから、妹と伝統的なクリスマスの昼ごはんを作ります。作りながらワインを飲みます。

そして、お昼ごろ、祖父と祖母、弟の家族、などクリスマスソングを聞きながら一緒にご飯を食べます。

ところで、クリスマスプディングとクリスマスケーキは全然違います。クリスマスプディングは黒砂糖と様々の酒とクルミと干しブドウなどで作られた黒くて、硬いプディングです。クリスマスプディングは、6ヶ月前から仕込みます。イギリスの甘納豆？私の家では一番年上の男の人がクリスマスプディングの上にウイスキーを注ぎ、火をつけるという風習があります。プディングが燃えている間に、切ると熱いウイスキーがプデ

## 国際交流パーティーから

ぶん：マーク・スミス

12月14日に国際交流パーティー行いました。今年、は皆さんとゲームをしたり、綺麗な服装を着ているフィリピン女性が踊りを踊ったりで楽しいものでした。婦人ボランティア団体イチゴがドンパン節の歌や森吉町の伊藤清美さんの魔法のような手品、燃えている紙から千円札も出して見せたりしてびっくりでした。特に皆さんで手を使わないで、あごでみかんを次の人に渡したゲームはとっても面白いゲームじゃー。

能代市から来たカリン・ソンドさん（英語指導助手）がバイオリンで伝統的なクリスマスの歌を弾きました。

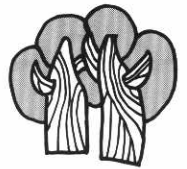
最後に、サンタクロースもパーティーに参加し、

すべての子供たちにクリスマスプレゼントをあげました。すてきな音楽とみかんの芳香のため、郷愁（ホームシック）を感じそうになりました。

この交流会でいろいろな国から来た人が交流し友達になれたので、来年はもっと多くの人に参加できたらいいと思いました。



# 健康広場



福祉保健課からのお知らせ

## 献血日程

1月14日(水)全血

- 10:00~11:40 空港建設事務所
- 12:00~13:00 サンリッツ
- 14:00~15:00 信用組合
- 15:00~16:00 商工会・J A

風邪に気をつけよう

## 風邪にまけない!! 体をつくろう

雪がちらつきめつきり寒くなりました。こうした気温の変わり目は風邪をひきやすい時期です。風邪は万病のもとと昔からいわれていますが、風邪はいろいろな病気を引き起こします。風邪にならないように予防を心がけましょう。

### 〈風邪のひきやすい状態〉

- ・ 空気の乾燥
- ・ 食事が不規則、栄養不足
- ・ 睡眠不足
- ・ 体力低下

### 〈風邪を予防するポイント〉

- ・ バランスのとれた栄養をとる。
  - ・ 過労をさけ、十分な睡眠をとる。
  - ・ 玄米や麦に多いビタミンB1、果物や新鮮な野菜に多いビタミンCをとる。
  - ・ 外出先から帰ったらよく手を洗い、うがいをする。
  - ・ 「かかったな」と思ったなら何を差し置いても休んで寝るのが一番。
  - ・ 風邪のウイルスは湿度に弱いので湿気を60%くらいに保つようにする。
  - ・ 部屋の換気を十分にして新鮮な空気を吸いましょう。
  - ・ 人込みではマスクを使う。マスクは適度な湿気を保ちます。
- 一日の疲れはその日のうちに取り、今年もまた健康な1年にしましょう。



《保健婦からのメッセージ》

竜森地区で

## 募集

# 生命の貯蓄体操 初心者教室

生命の貯蓄体操の初心者教室を開催します。  
あなたも体を動かして健康づくりしてみませんか

- 会場 葛黒林業センター
- 時間 午前9時30分～11時30分
- 日程 日程表のとおり
- 持参 バスタオル・トレパン・筆記用具
- 参加費 (初心者教室受講料3千円)
- しめきり 1月13日(火)

◎お問い合わせ申し込み先

鷹巣町保健センター (☎62-6666) まで

### ●日程表●

第1回	1月	16日	(金)
第2回		23日	(金)
第3回		30日	(金)
第4回	2月	6日	(金)
第5回		10日	(火)
第6回		20日	(金)
第7回		25日	(水)
第8回	3月	6日	(金)
第9回		11日	(水)
第10回		20日	(金)

※1月23日は午後1時から

# 1月の健康ごよみ

※15日以降の日程で未掲載分は次号に掲載します。

## 子育てサークル

日程 19日(月)  
 時間 午前10:00~11:30  
 場所 鷹巣町保健センター  
 内容 親子遊び・話し合い・  
 子育て相談など



## 定例 健康相談

日程 14日(水)・28日(水)  
 時間 午前10:00~12:00  
 午後1:00~3:00  
 場所 鷹巣町保健センター  
 内容 血圧測定、健康相談、尿検査  
 「禁煙、それは愛」

## 夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分~9時)

日	曜	医療機関名	電話番号
1	木	北秋中央病院	62-1455
2	金	北秋中央病院	62-1455
3	土	北秋中央病院	62-1455
4	日	佐々木産婦人科医院	63-0105
5	月	盛岡外科医院	62-1101
6	火	としま医院	62-1267
7	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
8	木	近藤医院	62-1155
9	金	北秋中央病院	62-1455
10	土	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
11	日	津谷内科	62-2261
12	月	遠藤クリニック	63-0515
13	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
14	水	鷹巣病院	62-1210
15	木	たむら内科クリニック	63-2700
16	金	奈良医院	62-1146

○ 応急の診察を要する患者。  
 ○ 往診はしておりません。  
 ○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

応じかねます。  
 ※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

## 妊婦の方

◎母子健康手帳交付と第1回母親学級

日程 5日(月)・19日(月)  
 時間 受付 午後1:00~1:10  
 終了 午後3:00頃  
 場所 鷹巣町保健センター  
 持参 印鑑

◎第2回母親学級

日程 22日(木)  
 受付 3日前まで申し込みください  
 時間 午後1:00~4:00  
 場所 鷹巣町保健センター  
 持参 母子健康手帳・テキスト  
 ※動きやすい服装でおいでください

## 平成9年2月~3月生まれのお子さんのいる方

◎10ヵ月児健康相談

日程 13日(火)  
 時間 受付 午前9:30~9:40  
 場所 鷹巣町保健センター  
 持参 母子健康手帳・歯ブラシ・バスタオル  
 問診表

## 平成7年10月~11月生まれのお子さんのいる方

◎2歳児歯科健康診査

日程 13日(火)  
 時間 受付 午後1:00~1:10  
 場所 鷹巣町保健センター  
 持参 母子健康手帳・問診表・歯ブラシ  
 バスタオル

## 平成6年8月~9月生まれのお子さんのいる方

◎3歳児健康診査

日程 7日(水)  
 時間 受付 午後1:00~1:20  
 場所 鷹巣町保健センター  
 持参 母子健康手帳・問診表・歯ブラシ  
 バスタオル

## 生命の貯蓄体操の日程

※動きやすい服装でバスタオルを持っておいでください。

◎各会場の日程と時間

(午前9時半~11時半)  
 鷹巣町保健センター 5・12・19・26日  
 太田児童館 6・13・20・27日  
 綴子基幹センター 7・14・21・28日  
 坊沢公民館 7・14・21・28日  
 七日市基幹センター 8・22・29日  
 (午後7時~9時)  
 地域福祉センター 7・14・21・28日  
 沢口林業センター 8・22・29日



# 鷹巣町縄文シンポジウム

## 遺跡と住民のかかわりを考える

縄文時代後期（約4,000年前）の環状列石を中心とした伊勢堂岱遺跡は、一大葬祭センターとも考えられ、縄文人の祈りの聖地として古代のロマンがかきたてられます。

こうした伊勢堂岱遺跡の重要性を地域の人たちが理解し、行政と共に保存や活用を考えていこうとワーキンググループも誕生しました。

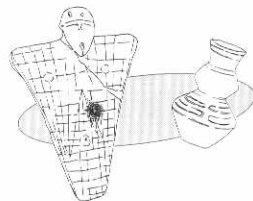
そこで、昨年度に続いて“住民が遺跡とどうかかわっていくか”を考えるシンポジウムを開催します。多数のご参加をお願いします。

日時

平成10年1月18日(日)  
午後1時～午後4時

会場

たかのす風土館ホール



《トーク》

作家：中山千夏氏

文化庁主任文化財調査官：岡村道雄氏 鷹巣町長：岩川徹氏

《伊勢堂岱遺跡調査報告》

鷹巣町教育委員会生涯学習課文化・遺跡係 岩越宏典

《パネルディスカッション》

テーマ 「遺跡と住民のかかわりを考える」

○コーディネーター

・秋田県教育庁文化課長

富樫泰時氏

○パネリスト

・作家

中山千夏氏

・文化庁主任文化財調査官

岡村道雄氏

・佐賀県教育委員会次長

高島忠平氏

・鷹巣町文化遺跡ワーキンググループ参加者より



作家  
中山千夏氏

◎参加の申し込みは、電話で、1月14日(水)まで

鷹巣町教育委員会生涯学習課まで (☎62-1111内線425・426)

主催：鷹巣町教育委員会・鷹巣町文化遺跡ワーキンググループ

## 農業者年金 定例相談会

農業者年金についていろいろなご相談を受け付けます。加入のことや経営移譲などを予定されている方はお気軽においでください。

- 日時 1月20日(火)  
午前10時から午後3時まで
- 会場 鷹巣町役場3階第1会議室
- 相談員 秋田県農業会議年金相談員

◎お問い合わせ先  
鷹巣町農業委員会  
☎62-1111 内線281

## 平成9年11月からの あきた北空港飛行機着 (フライトチェック)が終了

運輸省による計機着陸装置等のフライトチェックが12月17日をもって終了しました。

3月には、通信施設等を中心に2回目のフライトチェックを行う予定です。

検査期間中のご協力にお礼申し上げます。

大館能代空港建設事務所

# 慶弔だより

12月1日～15日まで届出分・敬称略



お誕生おめでとう  
ございます

- 伊藤 実礼 (榮和) 二女 花園町  
 大塚 翔貴 (忠貴) 二男 伊勢町  
 岩谷 真央 (孝信) 二女 綴子下町  
 堀内 奈々 (正文) 二女 綴子上町  
 西根 佑哉 (洋潤) 長男 舟見町



お二人の前途を  
祝福します

- 藤原 博貴 旭町  
 高橋 久美子 角館町

## おくやみ申し上げます

- 久留島リサ (83歳) 岩 脇  
 鈴木正太郎 (84歳) 舟 見 町  
 藤田 繁二 (75歳) 前 山  
 五代儀佐二郎 (80歳) 花 園 町  
 佐藤 福治 (92歳) 坊 沢 上 町  
 堀内 勇藏 (79歳) 綴 子 下 町

※12月15日号の慶弔だよりの「佐藤環希さん」のところを「佐藤環希さん」に訂正し、おわびいたします。

## 税の納期限

**町県民税 4期**  
**保険税 6期**

**2月2日まで**

～忘れずに納めましょう～

## 舞台技術 講習会開催

自分が主催する公演を自分の手で演出してみませんか。裏方さんの学習会です。お気軽に参加ください。

●日時 平成10年2月7日

午後1時半～4時

●会場 たかのす風土館

●講習内容 舞台照明の基本的操作と各照明機器の特徴についての研修

●講師 たかのす風土館ステ

ージオペレーター

●対象 中高校生及び一般

●受講料 無料

●しめきり 平成10年1月26日(月)まで

●お申し込み たかのす風土館事務室 電話 62-3311

## 育英会学生寮 入寮希望者募集

東京寮(世田谷区北沢)

募集人員 男子約25名

ビュリー千秋(川崎市)

募集人員 女子約20名

●募集期間 2月23日から

3月9日まで

●資料請求 入寮を希望する

「寮名」を明記し、80円切手を貼付した定型封筒(住所氏名記入)を同封の上、事務局まで

※入寮決定は3月17日頃

◎お問い合わせ資料請求先

〒010-0951 秋田市

山王1-2 地方総合庁舎6

F 財団法人 秋田育英会

電話 0188-60-3552

## 善意

▽高嶺流松泉会会長渡辺智子さんから第3回鷹巣教室発表会の収益金の一部として5万円

## 香典返し

- ▼澤田真人さん(前山)より亡父俊藏さんの香典返し
- ▼成田聰武さん(大堤)より亡父隆三さんの香典返し
- ▼近藤麻利子さん(南鷹巣)より亡父正治さんの香典返し
- ▼戸澤ミヨさん(新田中)より亡母ソノさんの香典返し
- ▼長岐孝司さん(小森)より亡母キヌさんの香典返し

1月10日は「110番の日」

# 「安心をつなぐかけ橋 110番」

110番は、緊急通報用の電話です。

事故を見たり聞いたりしたときは、ためらわずに

# 110番

して下さい。

## ◎110番通報の5つのポイント

- ☆何があったか 交通事故、けんか、泥棒
- ☆いつ、どこで 時間、場所、近くの目標
- ☆どんな事件か 事件、事故の様子
- ☆犯人は 人相、特徴、逃走方向、人数
- ☆あなたの住所、氏名 電話番号、事件事故との関係



勝平得之「冬の版画集」より●表紙「あろり」／裏表紙「こたつ」

